野市総合公園の都市公園計画区域の見直し（素案）に対する
意見公募の実施結果について

１．実施概要

（１）意見公募実施の趣旨

県立野市総合公園の都市公園計画区域の見直し（素案）について、広く県民の皆様から意見をいただき、都市公園計画区域の見直しおよび今後の公園整備に反映させるものです。

（２）意見募集対象

野市総合公園の都市公園計画区域の見直し（素案）について

（３）実施期間

令和８年 10 月 1 日(木)～10 月 31 日(土)

（４）実施主体

高知県土木部公園上下水道課

（５）告知方法

・高知県ホームページ
・公園上下水道課（本庁舎６階）

（６）意見提出方法

・電子メール、郵送、FAX

（７）回答方式

・自由記入方式

（８）回答数

・２通

２．いただいたご意見について

今回の意見公募では、２通の貴重なご意見をお寄せいただきました。

お寄せいただいたご意見の要旨とそれに対する考え方、素案への反映等を以下に示します。

番号	ご意見の要旨	ご意見に対する考え方	素案への反映
1	区域の縮小自体に反対はないが、区域外となる縮小予定区域については、放置すると雑木林や藪が繁茂し、近隣区域の住宅などへの樹木の接触や、竹の地下茎が延伸して住宅床板を突き破るなどの被害が想定される。 神奈川県川崎市では同様の問題が県の公園区域隣接地域で発生したが、地域の住民が団結し、定期的に地域住民が区域外の里山での雑木伐採、草刈りなどの活動を行っている。 縮小予定区域の雑草取りや間伐を公園区域周辺の整備事業としてイベントと位置付ければ、地域住民も参加しやすく、里山維持が図られるのでは。	今回区域縮小を行うエリアは未買収地であり、県の管理権限が及ぶ土地ではないため、管理につきましてはこれまでと同様に土地所有者の方により行われます。	素案どおり
2	見直しに反対していないが、今回の都市計画公園区域の縮小について、次の６項目についてより詳細な検討の説明を行っていただきたい。 1.除外区域の将来の土地利用 2.自然環境・景観への影響 3.南海トラフ地震等を想定した防災機能への影響 4.周辺施設による代替機能の具体的な検証 5.将来世代のためのオープンスペー	今回区域縮小を行うエリアでは、長期未買収の状態が続いており、土地所有者の私権を制限している状況にあります。 ご指摘いただいた内容等につきまして、県や香南市における本公園の位置づけを確認のうえ、必要性、代替性、実現性の観点から評価をした結果、今回、見直しを行うこととしました。	素案どおり

	ス確保の必要性 6.人口に対する公園面積の必要性について 34.8ha という広大な区域を都市計画公園から除外することについては、一度除外すると将来的に同規模の土地を公園として確保することが困難になる可能性がある。現在の財政状況や人口動態だけでなく、将来の防災、自然環境、景観、子どもたちの遊び場、地域のレクリエーション環境などを含め、長期的な視点から検討していただくことを要望する。そのうえで、区域を縮小する場合には、除外区域についても自然環境や防災機能を維持するための具体的な方策を併せて示していただくことを求める。	詳細な説明につきましては、今後、都市計画法の手続きに基づき開催する地元説明会等でお示しする予定としております。	